



学校だより〔3月号〕

千葉県立つくし特別支援学校 令和2年3月2日

「夢いっぱい 花いっぱい 元気いっぱい」



「100%」

校長 渡邊 和弘

高校生のころ、「化学」が苦手でした。定期テストでとてもひどい点数を取ったこともありました。そのとき、化学の先生が、「なんでこんな問題が分からないんだ？」と言っていました。今でもはっきりと覚えています。このときの化学の先生に限らず、学校の先生は自分の得意な教科の先生になっているはずです。決して苦手だった教科の先生にはなっていないと思います。学習指導要領などに、どの学年で、どの内容を扱うかは決められています。ですから、その教科の、その時点での理解すべき内容や到達度は決められていますので、先生としては教えてくれていました。しかし、いくら頑張っても勉強しても、分からない、できない、ということもあります。理想としては100%を目指していましたが、現実は、そううまくいかないものです。

私たち教師は、学校で児童生徒の支援・指導にあたります。うまくできなかったことができると、子供たちはとてもうれしそうです。そして私たち教師もうれしくなって、「これができるから、次はこれをやろう…」と、次から次へ課題を出します。「頑張ってもできるようになったら、また次の難しい課題が出てきた…」そう思っている子供たちがいるかもしれません。まずは、十分な達成感・充実感を味わい、次への意欲を育てていきたいと思っています。

大人同士の関係でも、自分と同じレベルのことを他の人に求めて、「これくらい、できて当たり前…」と考えているかもしれません。求められるということは、けっこう苦しいものです。「自分は自分、他人は他人、決して同じようにはできない」ということを理解した上で、100%は求めない。人に求めるなら70%か60%、いやいや50%でも十分と考えていきたいものです。

今年度最後の学校だよりです。一年間ありがとうございました。



小学部

「ひとりで、みんなで」がんばった一年間

先日の「卒業おめでとう集会」では、小学部の子供たちの成長を感じるとともに、感動の余韻に浸ったひとときに立ち会えたことをうれしく思います。小学部の児童全員が集まる機会は多くありません。しかし、だからこそ、そんな場面では、それぞれの学年で普段取り組んできた学習の成果がよく表れます。立派に発表をした六年生はもちろん、プレゼント作りや会場装飾、そして進行、それを声援や拍手で盛り上げた在校生も素敵でした。小学部みんなで卒業生をお祝いする、温かい雰囲気になった時間でした。

環境が変わった去年の四月から、一人一人が少しずつ生活に慣れ、新しい仲間と一緒に成長してきました。一か月後には、また新しい四月を迎えます。再び環境が変わり、初めの少しの期間は、戸惑いや不安で生活のリズムが崩れたり、身につけた力を十分に発揮できなかつたりするかもしれません。でも、これまで身につけてきた「できるようになった…」という経験は、一人一人の中にしっかりと残っています。子供を信じて見守れるよう、大人である我々も元気に新学期を迎えましょう。この一年間、たくさんの御協力をいただき、ありがとうございました。
〔小学部主事〕稲垣 淳



中学部

一年間を振り返って…

少しずつ寒さも和らぐ3月になり、学校生活のいろいろな機会に、今年度の取組のまとめや振り返りを行っています。先日行われた「卒業生を送る会」では、それぞれの一年間の成長の証を、各学年の発表という形で披露することができました。この一年間、様々な場面で生徒たちの活躍や成長した姿を見ることができました。

中学部では、『社会につながる適応力、応用力』を合い言葉に、「一人でもできる」「環境が変わってもできる」ことを目指して、様々な活動に取り組んできました。生徒たちが、のびのびと自信をもって活動に取り組むためには、学校と家庭の連携が不可欠です。連絡帳でのやり取り、登校・下校の見守りや練習、校外学習や行事への御協力等、本当にありがとうございました。

来月には、いよいよ新学年/新学部への進級/進学です。4月に、たくましい姿で、一回り大きく成長した生徒たちに会えることを楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

〔中学部主事〕上見 篤史



高等部

「ありがとうございました」

2月6日(木)、7日(金)に高等部販売会「つくしマーケット」を開催しました。天気にも恵まれ、今年もたくさんの皆様に御来場いただきました。ありがとうございました。生徒もとても張り切って活動しました。「えー、そんなに大きな声が出るの？」普段と全く異なる様子を見せる生徒の姿や、「休憩よりも販売をやりたい！」という生徒の声など、うれしい発見と喜びがたくさんあった販売会でした。「結局、大切なことは、販売を通してのやり取り、人と人とのコミュニケーションなのだなあ…」と改めて感じます。

年度末を迎えました。月並みですが、この時期にしっかりと年度を振り返ること、次年度に向けて目標を確認することはとても大切なことです。是非、御家庭で話題にさせていただき、確認をお願いします。今年度初めの4月号で、「備える」ということについて、「大切…」と書きました。改めて、皆さんがしっかりと新年度に備えることで、それぞれがいいスタートが切れるよう願っています。一年間、御協力いただきありがとうございました。
〔高等部主事〕安蒜 文雄

学校評価集計結果(教職員)			※評価(肯定的評価)…「よくできている」と「まあまあできている」を併せた割合(%)					評価 元年度	評価 31年度
教 保	評 価 する 項 目		よくでき ている	まあまあ できている	あまりで きていな い	全くでき ていない	分から ない		
学校経営	1	(1) 学校教育目標達成のために、学校経営方針や重点事項等を教職員が共通理解し、協働して取り組んでいる。	16	78	10	0	1	89.5	97.1
	2	(2) 教育環境を支える安全安心な学校づくりを目指し、各種マニュアルを見直し、日常的な点検や各種訓練を実施し、事故防止、防災、安全管理に努めている。	34	65	7	0	1	92.5	97.1
	3	(3) 児童生徒の生活の場として潤いのある環境となるように、施設・設備、備品等の計画的な整備、更新に努め、教室や廊下の掲示物・児童生徒の活動紹介等の創意工夫がなされている。	20	66	20	0	1	80.4	83.5
	4	適正化の観点から業務を見直す等、教職員一人一人が業務改善に取り組んでいる。	14	53	33	2	5	62.6	68.0
	5	計画的な会議運営、話し合いや教材研究の時間の確保、退勤時刻(ノーマルデー)厳守等、適切な時間管理の下で業務の効率化を図っている。	21	44	33	5	4	60.7	54.4
	6	組織マネジメントに基づく機動力のある組織づくりを目指し、校務分掌は機能しやすく組織され、職務内容は明確である。	13	62	27	1	4	70.1	85.3
	7	困ったことや悩みが生じた時には、日頃から教職員相互で話し合ったり、相談したりして、課題解決につなげている。	20	71	13	1	2	85.0	94.1
	8	(8) スクールバスの運行は、適切な学校運営につながっている。	48	54	2	0	2	96.2	97.1
学習指導	9	(12) 個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく、児童生徒の教育的ニーズに応じた学習活動を行っている。	30	70	6	0	1	93.5	98.0
	10	学級や学習グループで、児童生徒の課題や目標・手立て等をチームで十分話し合い、共通理解の下、授業実践を行っている。	27	68	11	0	1	88.8	92.2
	11	(15) 障害の状態や特性及び発達の段階等を踏まえた教材教具・補助具等の工夫、開発、整備に努めている。	32	65	9	0	1	90.7	92.2
	12	(14) 教育活動全体を通じて、体育・健康に関する指導を行うとともに、障害の状態や発達の段階、特性を的確に把握し、生涯にわたって運動に楽しむ資質や能力を育てている。	33	66	7	0	1	92.5	88.3
	13	安全な生活や行動をとることができるように、個に応じて危険を予測し、回避する能力の育成に努めている。	32	63	10	1	1	88.8	91.3
	14	(17) 摂食指導等の、食に関する指導の全体計画を作成し、計画的、継続的、組織的な指導に努めるとともに、望ましい食生活を送ろうとする態度を育成している。	21	70	14	1	1	85.0	94.1
	15	(18) 道徳教育全体計画に基づき、道徳教育推進教師を中心に指導体制の充実を図り、全教職員が協力して日常的・計画的に道徳教育を推進している。	14	62	27	2	1	71.7	86.4
生徒指導	16	一人一人のかけがえのない生命、人権を尊重し、児童生徒同士、教職員と児童生徒の関係等心豊かな人間関係をつくっている。	35	66	4	1	1	94.4	100.0
	17	いじめ防止基本方針に基づき、生徒指導体制を運用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいる。	39	66	1	0	1	98.1	98.1
	18	(19) 日頃から家庭との連携に努め、児童生徒の気持ちや保護者の願いを大切に、児童生徒や保護者が相談しやすい関係づくりに努めている。また、児童・生徒および保護者の悩みや相談に誠意をもって丁寧に対応している。	52	48	6	0	1	93.5	98.1
キャリア教育	19	(20) キャリア発達の視点をもって、小・中・高等部12年間の教育内容(健康、基本的な生活習慣、社会性の育成等)を整理し、自立や社会参加を支援する取組をしている。	19	71	16	0	1	84.1	82.5
	20	一人一人に応じた計画的な進路指導を推進している。	29	64	4	0	4	92.1	90.0
交流及び共同学習	21	共生社会を目指して、学校間や地域住民と一緒に活動する機会を設け、児童生徒・学校と地域との相互理解や連携に努めている。	21	76	9	0	1	90.7	92.2
	22	交流及び共同学習や居住地校交流の意義を保護者と十分に共通理解し、児童生徒の成長や地域での本人理解となる活動内容となっている。	25	72	9	0	1	90.7	94.2
地域連携	23	(6) 日常の教育活動を積極的に公開するとともに、「学校だより」等の各種たよりの配付やホームページ、一斉メールの活用で、学校の様子や必要な情報を適切に発信している。	37	66	2	0	1	97.2	98.1
	24	(7) 保護者・地域と連携し、特別支援教育に関する理解・推進に努めるとともに、開かれた学校づくりとなるように努めている。	35	67	3	0	1	96.2	96.1
	25	学校は、保護者・地域・関係機関の声に応え、地域連携、特別支援教育のセンター的機能(地域支援、関係機関との連携、教育・就学相談、公開・見学会等)を果たしている。	41	62	2	0	1	97.2	97.1
研究・研修	26	教職員一人一人の意見や考えが尊重され、個性や持ち味を生かした教育活動や学校運営が展開されている。	18	71	15	0	2	84.0	86.4
	27	研究計画の下に授業研究を展開し、その成果が実践に反映されている。	22	69	12	0	2	86.7	90.2
	28	自立活動(摂食・体の動き等)等の研修を通して、児童生徒一人一人への指導上必要な知識や技能を習得し、自らの指導力・専門性を高めている。	25	70	9	0	2	89.6	96.1
不祥事防止等	29	(9) 児童生徒の安全面での配慮や事故の場合の対応を適切に行っている。	47	52	6	0	1	93.4	97.1
	30	個人情報の管理や児童生徒への対応等を適切に行い、不祥事根絶に努めている。	37	59	9	0	1	90.6	99.0
	31	(10) 電話や外来者に対し、丁寧な対応ができている。	47	56	2	0	1	97.2	100.0

学校評価集計結果(保護者)									
※評価(肯定的評価)…「そう思う(良い)」と「ややそう思う」を併せた割合(%)									
保	教	評価項目	そう思う (良い)	ややそ う思う	あまり そう思 わない	思わな い(良く ない)	分から ない	評価 元年度	評価 31年度
学校 経営	1	(1) 学校は、学校教育目標達成のために、学校経営方針や重点事項等を保護者に分かりやすく伝えている。	132	70	2	0	4	97.1	96.3
	2	(2) 学校は、教育環境を支える安全安心な学校づくりを目指し、防災訓練(避難訓練)等を実施し、災害時に備えた対応を行っている。	149	55	1	0	3	98.1	99.0
	3	(3) 学校は、児童生徒の生活の場として潤いのある環境となるように、校内の施設・設備の安全に配慮し、児童生徒の事故やけが防止に対して適切な対応に努めている。	148	56	3	1	0	98.1	94.4
	4	学校は、教室や廊下の掲示物・児童生徒の活動紹介等に創意工夫するとともに、清掃等の校内美化に努めている。	158	46	4	0	0	98.1	96.9
	5	(22) 学校は、共生社会づくりを目指して、交流及び共同学習や居住地校交流を積極的に行い、児童生徒・学校と地域との相互理解や連携に努めている。	145	54	5	0	4	95.7	96.4
	6	(23) 学校は、学校だよりやホームページ、一斉メール等の活用で、学校の様子や必要な情報を適切に伝えている。	125	72	8	0	3	94.7	95.4
	7	(24) 学校は、「開かれた学校づくり」を目指して、参観日や学校行事、学校公開等を計画的に実施している。	151	50	5	0	2	96.6	99.0
	8	(8) 学校は、スクールバスの円滑な運行に努めている。	126	58	2	2	20	88.5	84.7
	9	(29) 学校は、児童生徒の安全面での配慮や事故の場合の対応を適切に行っている。	146	49	0	1	12	93.8	91.8
	10	(31) 学校は、電話や外来者に対し、丁寧な対応ができています。	152	30	0	1	2	98.4	95.9
	11	お子様を本校に通わせてよかったと考えています。	174	30	0	1	2	98.6	
学習 指導・ 生徒 指導	12	(9) 学校は、個別の指導計画に沿って、お子様の特性や発達の段階に応じた一人一人の良さや可能性を大切にされた教育活動を行っている。	158	42	2	2	2	97.1	96.9
	13	学校は、専門的知識をもって学習活動を計画し、丁寧に指導・支援をしている。	140	61	2	1	2	97.6	94.9
	14	(15) 学校は、適切な障害理解の下に、お子様の課題に応じた生命や人権に配慮した指導・支援や配慮を行っている。	141	60	3	1	1	97.6	93.3
	15	(11) 学校は、お子様の課題を的確に把握して、教材教具を工夫し、分かりやすく満足できる内容の授業を行っている。	148	48	3	0	6	95.6	96.4
	16	(12) 学校は、お子様が身体を動かすことや運動が好きになるような取組を行っている。	154	46	3	0	3	97.1	96.9
	17	(14) 学校は、給食指導(摂食指導を含む)の充実を図り、望ましい食習慣の形成や食育について、家庭との連携に努めている。	132	63	3	0	8	94.7	92.3
	18	(17) 学校は、共に活動する中で、友達と仲良くしたり、協力して活動したりする心の育成に努めている。	151	51	0	0	3	98.5	97.9
	19	(18) 学校は、お子様の気持ちや保護者の願いを大切に、保護者が相談しやすい学級・学年・学部・学校経営を行っている。	144	53	4	2	3	95.6	94.4
	20	(19) キャリア教育(自分でできることを増やし、自立や社会参加に望ましい生活習慣や態度を育む)の視点から、面談や進路に関する説明会等は、適切に行われている。	131	60	4	1	10	92.7	92.8

令和元年度 学校評価のまとめ

I 学校評価アンケートの結果の考察

回収率 保護者 90.8% 教職員 94.5%

- ・保護者評価（肯定的評価）…「そう思う（良い）」と「ややそう思う」を併せた割合（%）
20項目の評価項目の肯定的評価の平均 96.2%（昨年度 94.5%）
- ・教職員評価（肯定的評価）…「よくできている」と「まあまあできている」を併せた割合（%）
31項目の評価項目の肯定的評価の平均 87.1%（昨年度 94.1%）

1 全体的傾向

保護者からの評価は、昨年度同様、高い評価を得ることができた。

教職員からの評価は、昨年度より7%低くなっている。

2 教職員から

31項目の評価項目中17項目が90%以上の高評価であった。

肯定的評価の低い項目（70%未満）は、昨年度同様、業務改善、業務の効率化に関わる内容だった。

特に、業務の効率化に関わる項目は、60.7%と全項目の中で最も低かったが、昨年度の54.4%より高い評価になった。「教職員一人一人が業務改善に取り組んでいる。」という項目では、昨年度の68.0%から62.6%に下がっている。「校務分掌は機能しやすく組織され、職務内容は明確である。」という項目については、昨年度より15%下がり、70.1%となった。今や、教育職員の働き方改革は喫緊の課題であり、「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」の策定や「一年単位の変形労働時間制」の導入などに国を挙げて取り組んでいる。本校職員にも、業務の効率化等への意識改革が浸透していると感じるが、遅々として進まない現実とのギャップが学校評価の結果に表れていると考える。引き続き、「子供に関わる時間の確保」を最優先としながら、学校行事の精選と業務内容の整理に取り組んでいく。また、勤務時間の適正化、会議の効率化、校務分掌の適正化等を図り、より働きやすい勤務環境を整えていきたい。

いじめ防止や地域連携、スクールバス、開かれた学校づくりの項目については、95%以上の高い評価となっている。『チーム学校』として、地域と連携しながら、安全・安心な学校づくりに取り組んできた結果である。来年度も、各部署が連携を図りながら教職員の働き方改革を進めるとともに、教職員一人一人の指導力向上に努め、12年間の見通しをもって児童生徒の「生きる力」を育てていきたい。

3 保護者から

20項目の評価項目中、19項目が90%以上の高評価であった。また、自由記述欄には、担任の温かい見守り、熱心な指導、子供の様子が分かりやすい連絡帳等、多くの肯定的評価の記述があり、教職員一同の日頃の努力が評価され、とても励みとなった。

肯定的評価の低い項目（80%以上90%未満）は、スクールバスの運行についての項目であった。高等部生徒が毎日バスに乗れない状況や雨天時のバスの遅延については、引き続き、丁寧な説明に努めていきたい。

今年度は、心の育成、施設・設備の安全、事故やけが防止、環境美化等の項目で高い評価を受けた。安全・安心な学校づくりは教育活動を行う上で欠かせない。また、心の育成という点では、児童生徒個々のコミュニケーション能力の育成と児童生徒相互の人間関係構築の重要性を教職員間で共通理解し、児童生徒の障害特性に応じて指導を継続してきた成果であると考えている。来年度も引き続き取り組んでいく。今後とも、本校の教育活動について御理解と御協力が頂けるように尽力していきたい。

4 第3回開かれた学校づくり委員会から【令和2年2月5日（水）開催】

（1）評価

・以前、警察から「どのような施設でも20%の問題を抱えている」という話を聞いた。保護者の評価は高いが、そのような見方をして気をつけて学校を見ていくことも大切である。

- ・児童生徒の挨拶や頑張っている姿に感動している。
- ・子供たちが落ち着いている。細やかな言葉掛けや細かい工夫が素晴らしく、素敵な授業だった。
- ・何でも学校にお願いしてやってもらうだけでは駄目である。保護者の意識改革も必要だと感じる。

（2）学校への要望

- ・2年前から、学校と地域が連携した防災訓練が始まった。今後も続けてもらいたい。
- ・近くの学校なので、もう少し密に交流できればよいと考えている。（金ヶ作幼稚園）
- ・学校のホームページを見るというのは、年配の方には浸透しづらい。他の方法はないか。

II まとめ

学校評価アンケートの結果から、学校教育目標の実現に向けて取り組んできた、教職員の教育活動や校務遂行に関する創意工夫、一致協力して指導に当たった成果を確認することができた。

一方で、学校評価アンケートの自由記述欄に貴重な御意見を頂いた。これらを参考にしながら、改善できるところは、今年度中に各学部、分掌係等において着手し、他の事項についても、次年度への運営改善につなげていくよう計画していく。そして、今後も運営改善に向けた積極的な取組やその結果について、学校評価アンケート等による評価を行いながら、教職員はもちろん、児童生徒、保護者、地域、関係機関が一丸となって、更なる教育の質の向上と保護者や地域から信頼される学校づくりを目指していきたい。



進路支援

進路指導／キャリア教育

高等部3年生の進路が決定しました！！

4月から社会人となる33名の卒業生の活躍を応援しています。

保護者の皆様をはじめ、これまで進路決定に関わってくださった皆様、ありがとうございました。

生活介護事業所 19名

- 〈松戸市〉みらいネクスト ワークジョイ 第二わかば園
ふれんず かりん ワークライフまつさと
- 〈柏市〉DAYS WITH US
- 〈鎌ヶ谷市〉みちる園 こいけ障害者支援センター
たんぽぽハウス
- 〈白井市〉手塩宿
- 〈流山市〉Canvas



地域活動支援センター 1名

- 〈松戸市〉バクの家

就労継続支援B型事業所 8名

- 〈松戸市〉
ハッピーワーク幸 あるば
プレジール秋桜 みらいず
- 〈柏市〉朋生園
- 〈鎌ヶ谷市〉きらら

就労移行支援事業所 2名

- 〈松戸市〉ハートウィル



企業就労 3名

- 株式会社日立ゆうあんどあい（清掃）
- 株式会社オリンピア 柏事業所（調理補助）
- 株式会社メイテックビジネスサービス 柏事業所（紙すき）

【進路決定までを振り返って】

近年は、福祉・企業ともに事業所の数が増え、理念や活動の特色が様々で、その分、選択の幅も広がっています。生徒によっては、ステップアップを考えて、それまで希望していた事業所を変更するケースもありました。しかし、本年度も、本人や保護者の希望が叶わなかったり、事業所側の運営の都合で契約ができなかったりと、進路変更を余儀なくされる事例がありました。早いうちから多くの情報収集をし、学校や支援機関へ相談したり、事業所見学を繰り返したりと準備をしておく、突然の進路変更の際にも慌てずに済みます。

家庭だけでは分からないことも多くあると思いますので、気掛かりなことはため込まず、是非、積極的に相談をしてください。

【新規事業所情報等】

○就労継続支援B型事業所「シロツメクサ」

- ・JR南柏駅西口より徒歩5分
- 軽作業、動画編集、トリマー補助など



○就労継続支援B型事業所「ワークルーチェ」

- ・北総線白井駅から徒歩15分
- 軽作業、パン製造・販売など



【グループホーム見学の御案内】

松戸市や柏市等のグループホーム運営者の方から見学受入れの御案内をいただきました。御興味がある場合は、進路担当から詳細をお知らせしますので、担任までお問合せください。



見学希望の場合は各家庭から先方に連絡をお願いします。今回は、一戸建てで共同生活タイプのグループホームです。（グループホーム所在地：五香、小金原、酒井根、八千代など）

〔進路指導主事〕浅利 邦子

〔就労支援コーディネーター〕池田 和也

3月 行事予定					令和2年度4月 行事予定				
日	曜	日課	学校行事など	保健関係	日	曜	日課	学校行事など	
1	日				1	水		学年始め休業 ~5日	
2	月				2	木			
3	火		PTA会計監査(卒)		3	金			
4	水	Ⓐ	小中 入学説明会AM		4	土			
5	木				5	日			
6	金		高 卒業式予行練習		6	月	C	始業式	
7	土		走々クラブ 和太鼓クラブ活動日		7	火	C		
8	日				8	水	C	小・中学部 入学式 高等部 入学式 * 新入生は式後下校 在校生は通常日課/給食開始	
9	月				9	木			
10	火	A/C	高等部 卒業式 小・中 通常日課		10	金			
11	水	Ⓐ			11	土		走々クラブ 和太鼓クラブ活動日	
12	木		小中 卒業式予行練習		12	日			
13	金		高等部 入学説明会AM PTA会計監査(在)		13	月			
14	土		走々クラブ活動日		14	火			
15	日				15	水	Ⓐ	小1平常日課開始	
16	月				16	木			
17	火	C/A	小中 卒業式 高 通常日課		17	金		全校保護者会 高3 進路保護者会	
18	水	Ⓐ	在校学年保護者面談~23日 小低 学年保護者会		18	土		走々クラブ活動日	
19	木	Ⓐ	小高 学年保護者会		19	日			
20	金		春分の日		20	月		全校集会	
21	土				21	火			
22	日				22	水	Ⓐ		
23	月	Ⓐ	給食最終日		23	木	B	家庭訪問、保護者面談①	
24	火	C	修了式		24	金	B	家庭訪問、保護者面談②	
25	水		学年末休業~31日		25	土			
26	木				26	日			
27	金				27	月	B	家庭訪問、保護者面談③	
28	土				28	火	B	家庭訪問、保護者面談④	
29	日				29	水		昭和の日	
30	月	C	離任式		30	木			
31	火								

※現在の予定で掲載していますが、今後、急な変更も考えられます。決定次第お知らせしていきますので、随時、最新の情報を御確認ください。

※令和二年度の予定は変更になる可能性があります。新年度当初に再度御確認ください。

<自立活動係からのお願い>

4月からの進級にあたって、週末に持ち帰っている上履きのサイズや靴底のすり減り方などを確認してください。「新しく買い換えた方が良いかな…?」と思われたら(外履きも含めて)、事前(購入前)に、学校での様子や靴の選び方などについて、担任に相談してみてください。

学校で毎日6時間履いている靴の、足への影響はとても大きいのです。日々、頑張っ て歩いたり走ったりしている子供たちの足を守ってくれている「靴」を、今一度見直して みましょう。